

科目名	特別研究 (電子・通信システム工学コース)	英文表記	Advanced Research	H23.3.25		
科目コード	6202					
教員名：情報通信システム工学科全教員 技術職員名：佐竹卓彦、比嘉修				作成		
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
創造システム工学専攻・電子通信システム	専2	必	学修	8単位	実験	通年
目標及び評価方法	目標項目		評価方法及びその割合			
	①研究テーマに関する調査研究・課題・研究計画・実験・考察などを経て、社会に有用な新規性・独自性のある結論を導き、その成果を論文にまとめるという基礎的な研究能力を養う。 ②関連する専門の基礎学力の向上に努め、最新の応用技術を調査し、研究内容について学術的に論述・発表できる論文作成能力・プレゼンテーション能力を養う。		①主査による評価 (70%) とし、内訳は、 課題に対する理解・取組 (14%) 研究計画・過程の報告状況、認識 (14%) 課題・研究内容における調査研究 (14%) 実験研究・解析に対する理解、取組 (14%) 実験内容に対する考察・まとめ (14%) ②副査による評価 (30%) とし、内訳は 研究・背景・目的理解 (10%) 実験方法・解析手法・結果 (10%) 考察・まとめ・質疑 (10%)			
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	情報通信システム工学
	○	◎	◎	○	JABEEプログラム教育目標	A-1, A-2, A-3, B-1, B-2, B-3, C-1, C-2, C-3
授業概要、方針、履修上の注意	授業はコースの特別研究指導教員のもとで実施する。 授業期間は2年間とし、1学年においては研究の基礎から中間段階まで取り組み、2学年において研究を完成させる。 研究テーマ詳細については、特別研究指導教員のテーマ内容 (添付資料) を参照すること。					
教科書・教材	特別研究指導教員が提示する参考図書、および自ら検索した研究に関連する図書など					
<b>授 業 計 画</b>						
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			予 習 項 目
1	調査研究・課題・研究計画・実験	240	各テーマの内容・進捗状況による			関連項目の調査
2	中間発表		4月:これまでの成果報告・質疑応答			
3	中間ポスター		高専祭:これまでの成果報告・質疑応答			
4						
5	最終発表		2月:これまでの成果報告・質疑応答			
学習時間合計		240	実時間		200	
学修単位における自学自習時間の保証 (レポート頻度など) 図書館・研究室などにおける文献調査・予備実験 (120時間)						

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)